

第9分科会：生涯活躍・健康

テーマ 生まれてから死ぬまで地域で暮らすために

副題 ～介護・福祉・医療・教育の連携でつくる未来～

内容

「生まれてから死ぬまで住み慣れた地域で暮らしたい。」「温かく居心地のいい場所で最後まで暮らしたい。」そんな願いを叶えたいと活動しているパネリストと、地域に必要な取組み、これから何ができるかを考える。

第1部

パネリストによる介護・福祉・医療・教育の現場での実践紹介

⇒地域に必要な取組みについて

ディスカッション

第2部

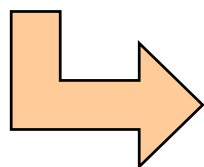
介護・福祉・医療・教育の連携とこれからの地域に何ができるかについて、ディスカッション

第9分科会：生涯活躍・健康



パネリスト等これまでの取組み

- ・青柳 暁子：介護予防の普及、高齢者の拠点づくり
- ・佐竹 真紀：デイサービスセンターつづくの運営
- ・露木 里恵：訪問介護ステーション・居宅介護支援事務所等運営。
暮らしの保健室を運営し、「創造する看護」を目指す。
- ・前川 有希子：足の健康を維持する取組み
- ・望月 こずえ：訪問看護ステーションの運営（周産期妊婦、子ども向け）



課題

- 地域として一体感を持ちにくい
- 情報共有・活動内容の周知不足
- 地域づくり、地域活動への関心が薄くなっている
- 分野（介護、福祉、医療、教育）ごとの連携不足

第9分科会：生涯活躍・健康

取組み方針

○交流できる場づくり

個々の交流する場を作る、行政との連携



地域づくり、だれでも参加できる場づくり

○情報の発信

行政・民間・教育が一緒になって活動マップを作成する

既存のグループ、SNS等の活用

○人づくり

研究・学生の育成、社会課題の共有

継続的に行えるチームづくり

第9分科会：生涯活躍・健康

未来の目指す姿

医療・介護・福祉・教育のそれぞれの
分野が協力・連携し、
行政と協働する地域住民が支え合う地域